



## sPlatプロジェクト

暗号化XMLデータ利用技術についての課題と対策

## sPlat まとめ

2006年5月24日

XMLコンソーシアム

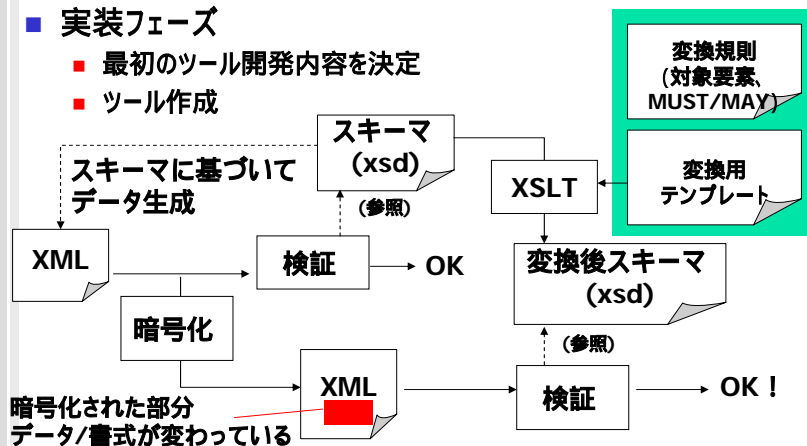
セキュリティ部会/Webサービス実証部会

松永 豊 (東京エレクトロン)

## 活動結果



- 調査・検討フェーズ
  - 問題点の洗い出し、関連技術の調査
  - 解決方法の議論
- 実装フェーズ
  - 最初のツール開発内容を決定
  - ツール作成





# 課題



XML Consortium

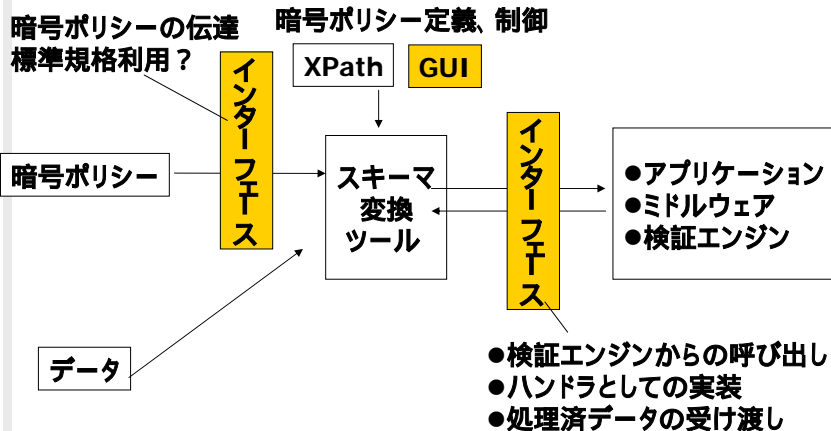
- スコープ (カッコ内は将来の課題)
  - 1. 妥当性検証、(2. データバインディング)
  - 1. スタンドアロン・ツール、(2. 検証エンジンとの統合)
  - 対象とするスキーマは、W3C策定のXML Schema
  - (ポリシー定義、伝達)
- 既存のXMLパーサーやデータバインディングツールとの統合
  - アプリケーションでのデータ利用
  - よりシームレスな利用方法
- 暗号ポリシー定義、伝達
  - 定義 - XSLT/XPathの知識不要な方法、ユーザ・インターフェース
  - 伝達 - 利用シーンによって要求が異なる
  - いずれも、アプリケーション基盤との互換性や連携の考慮が必要



# ビジョン



XML Consortium





## sPlat - 今後の活動



- 暗号化XML検証の手法 / ツールの開発を継続
  - アプリケーションで利用できるものを目指す
  - ベスト・プラクティスを提案
- 標準規格の応用方法確立にも貢献したい
  - XML Encryption, XML Signature
  - WS-Security
  - WS-Policy / WS-SecurityPolicy
- ご意見があれば、ぜひご連絡ください
  - 情報(ウチではこうやっている等)、提案、要求



XML Consortium

# END

ご清聴ありがとうございました。